

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）を受けられる患者様へ

様

検査日 年 月 日（曜日）： 来院

- 胃カメラの方法（経口・経鼻・経鼻内視鏡を口から）
- 眠くなる麻酔（鎮静剤）の使用（有・無）
- 胃カメラ前の腹部エコー検査（有・無）

<検査目的>

上部消化管内視鏡検査では、食道・胃・十二指腸にできる病気（炎症・潰瘍・ポリープ・がん・食道静脈瘤など）を見つけ、適切な治療法を考えるために行います。

<検査前日および当日の注意事項>

前日は夜9時までに食事を済ませて、以降は水かお茶またはスポーツ飲料のみを摂取してください。

当日朝食は絶食となります。来院時刻の1時間前からは水分も摂らないで下さい。

検査のときに眠くなる麻酔（鎮静剤）の使用を希望される方は、検査当日は絶対に車、バイク、自転車の運転をしないでください。ご高齢の方はご家族の付き添いが必要です。

<方法>

胃の中を見やすくするシロップを飲んでから、のどを冷凍した麻酔薬で麻酔します。経鼻内視鏡の方は左右の鼻腔を拡張するための薬をスプレーし、局所麻酔のゼリーを注入します。鎮静剤ご希望の方はあらかじめ点滴を行い、検査直前に注射し眠くなったところで検査を行います。内視鏡を口または鼻から挿入し、喉、食道、胃、十二指腸を観察します。必要であれば小さな組織を採取してピロリ菌検査や、病理検査を行います。検査時間は10分から20分程度です。

<検査後の注意事項>

検査終了後1時間ほどで喉の麻酔が切れますので、水分や軽食を摂っていただいて結構です。ピロリ菌や組織検査を受けられた方は2時間ほどあけて頂き、当日は飲酒をしないようにして下さい。鎮静剤を使われた方は30分ほどベッドで休んで頂き、検査結果の説明を受けてからお帰り頂きます。

<偶発症について>

偶発症とは検査で意図せずに起こる合併症のことです。麻酔やお薬によるショック、アレルギー症状、内視鏡操作によって起こる出血や穿孔（消化管の壁に穴があくこと）などが主な偶発症です。万一、偶発症が発生したときは外科処置も含めた最善の処置をいたします。

- 血圧の薬を朝食後に内服されている方は当日絶食となりますが7時頃までに内服して下さい。
- 抗凝固剤（血を固まりにくくする薬）・糖尿病に関係する薬やインスリンを使用されている方は早めにお知らせください。（検査1週間前まで）
- 本日内服薬が不明の場合は、検査当日お薬の一覧表（お薬手帳）か現物をご持参下さい。

[当日朝内服するお薬： 飲むお薬はありません]

以上同意書にご署名のうえ、医師、看護師または受付にご提出ください。この他、疑問点がございましたら医師、看護師にお尋ねください。

吉岡医院 電話 075-451-0164